

見直しましょう！ わが家の防火対策



年間3万7千件以上の火災が発生！住宅火災で多くの方が亡くなっています。住宅火災における死者の約7割が65歳以上の高齢者です。大切な家族の命、財産を守るために、家族で常日頃の防火に対する心がけと実行することが大切です！

火災原因1 たばこの不始末

消したつもりでも完全に消えないことも。確実に消えたことを確認しましょう。たばこの火は炎を伴わない無炎燃焼が特徴。



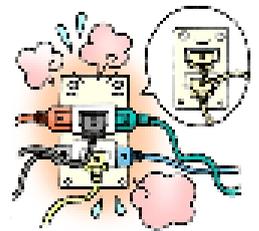
火災原因2 ストープの不適切な使用

カーテンや洗濯物がストーブに触れて火災になることも。燃えやすい物の近くでは絶対に使用しないようにしましょう。



火災原因3 電気器具から出火

プラグとコンセントの間は、ホコリがたまりやすく、発熱して火災の原因に。定期的に掃除をしましょう。タコ足配線も発熱の原因となります。また老朽化した電化製品は出火防止のためにも買い換えを。



火災原因4 コンロの火をつけっ放し

台所での火災原因で最も多いのがコンロ。調理中に台所から離れる時は、必ずコンロの火を消してください。調子が悪いコンロ等はすぐに使用をやめて、製造業者や販売店に連絡を。



火災原因5 放火、放火の疑い

放火は夜間に多く発生しています。燃えやすいものを家のまわりに放置せず、「放火されない、させない」環境作りを心がけましょう。



「まさか！」の火事。住宅用火災警報器や住宅用消火器で助かった命があります。 住宅用火災警報器

万が一の時でも火災警報器があれば、火災をいち早く知らせてくれます。警報器が鳴ってコンロの空焚きに気が付いた。座布団の上でたばこがくすぶっていた。など奏効例が多くなっています。

設置が義務付けられている所・寝室、階段
設置をおすすめする所・台所、居室、仏間
煙式と熱式の種類がありますが、寝室・階段には煙式を設置してください。

住宅用消火器

もしも火災が起きたら、消火器による初期消火がたいへん有効です。ご家庭で住宅用消火器を設置して、万が一に備えてすぐに使えるようにしておきましょう。

※消火器には使用期限があります。期限の過ぎた消火器は新しいものと交換しましょう。



火事・救急は・・・119番に通報 ～あわてずに落ち着いて～